

b. 単包条虫症 unilocular echinococcosis

単包条虫 *E. granulosus* はイヌ, オオカミやジャッカル
の腸管に寄生する 3~4 mm 大(体節数 3)の条虫で, ウシ,
ウマ, ヒツジ, ヤギ, ブタ等が中間宿主となる。世界中(特
にヒツジを飼う地方)に広く分布している。わが国では, 北
海道を除く地域で少数例の報告がある。中間宿主が虫卵を
摂取すると, 肝や肺, まれに大網, 骨, 腎, 脳や眼球に胞
囊 hydatid が形成される。母胞囊内に複数の娘胞囊が遊離
することがある(図 11)。胞囊壁内層(胚層 germinal layer)
には中空の繁殖胞 brood capsule が複数出芽し, 繁殖胞内
にはさらに数個の原頭節が形成される。また, 石灰小体が
散在する。胞囊壁は宿主由来の線維組織によって被包され,
その内側に虫体由来の層板状囊胞壁がみられる。本層は
100 μm ~1 mm と厚く, PAS 染色陽性, Grocott 染色で美
しい縞模様状を呈する数層の無細胞性角皮よりなっている
(図 12)。内腔は包虫液 hydatid fluid を入れる。古い胞囊で
は, 遊離頭節や繁殖胞が包虫砂 hydatid sand として沈渣す
る。図 13 には, 同症例の頭節の実体顕微鏡観察所見を示す。

包虫の発育速度は緩徐だが, 10~20 年後に母胞囊はきわ
めて大型となる(内容量 10 l 以上)。手術時に包虫液が漏れ
ると, 図 11~13 に示すペルー帰りの二世例のように, アナ
フィラキシーショックをきたして術中に死亡することがあ
る。

参考文献

- 1) 吉田幸雄: 無鉤条虫と有鉤条虫. 最新医学 1989, 44: 884-888
- 2) 西山利正, 荒木恒治: 有鉤条虫症・有鉤囊虫症. 治

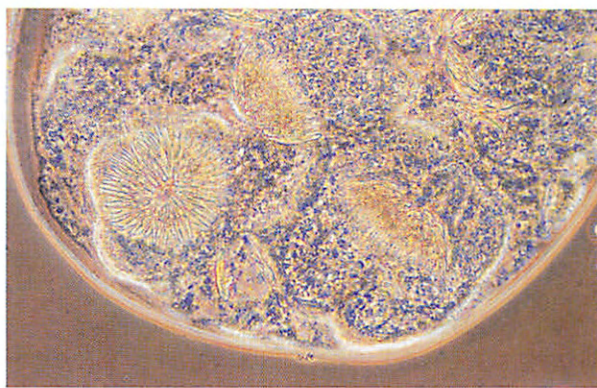


図 13 単包虫の実体顕微鏡像 娘囊胞壁に観察された原頭節で, 先端部の額嘴 rostellum に並ぶ小棘 hooklets の存在が確認される(東海大感染症学, 永倉貢一博士のご厚意による)。

療 1991, 73: 2443-2446

- 3) 山下次郎: エキノコックスその正体と対策. 北大図書刊行会, 札幌, 1978
- 4) 鳥山 寛: 包虫症. 病理と臨床 1984, 2: 1186-1188
- 5) 久津見晴彦: 多包虫症. 最新医学 1989, 44: 889-894
- 6) 山口富雄: エキノコックス症. 臨床と微生物 1996, 23: 185-191
- 7) Orihel, T. C., Ash, L. R.: Cestoda. In: Parasites in Human Tissues(ed. by Orihel, T. C., Ash, L. R.), ASCP Press, Chicago, 1995, 293-325

コラム

アカウントビリティー

円周率は「身一つ世一つ生くは無意味いわくなく」, 卵巣腫瘍の中間悪性度群腫瘍「きみ男か」(奇形腫, 未分化胚細胞腫瘍, 男化腫瘍, 顆粒膜細胞腫)。こんな覚え方ができるのは日本語独特。日本語の細かいニュアンスを作り出す繰り返し言葉, さらに, ざらざら, だろだろといった表現は日本語を学ぶ外国人に一番難しい部分らしい。

日本語の大きな特徴に, 外来語の翻訳しやすさがある。杉田玄白と前野良沢は解体新書の翻訳に際し, 中国の五臓六腑に入らない脾臓を苦勞の末「大機里爾」と呼んだ(1774年)。

「藤」という文字は 1805 年に宇田川玄真により考え出され, 中国に逆輸出された。江戸期に訓読み主体だった漢字の用法は, 明治維新以降音読み主体に変身した。原動力は,

福沢諭吉, 西茜(あかね)らを中心とする知識人たち。社会, 愛情, 家庭, 演説といった熟語が次々と創生された。

残念ながら, 一部の言葉は本来もつ英語のニュアンスの違いが無視されてしまった。その代表が「情報」。英語にはインフォメーションとインテリジェンスの 2 種がある。後者は知的情報という意味だ。

もし福沢がきちんと訳していたら日本社会が変わったかもしれない重要な言葉にアカウントビリティーがある。辞書には責任とあるが, レスポンスビリティーと区別がない。アカウントビリティーとはしっかり説明をする責任という意味だ。政治でも医療でも, 現代日本に欠けているのがこのアカウントビリティー。これこそインフォームド・コンセント(十分な説明に基づく合意)の原点。